



## 校正証明書

依頼者名:

依頼者住所:

品名: 音響校正器 (ピストンホン)

型式: NC-72B

機器番号:

製造者名: リオン株式会社

供試校正票: 校正年月日:

供試気圧計: 型式: SBR-121

製造番号:

校正実施場所: 東京都八王子市兵衛二丁目22番2号  
リオンサービスセンター株式会社 校正室

校正環境条件: 温度: 20℃ ~ 26℃

相対湿度: 25% ~ 70%

静圧: 97 kPa ~ 105 kPa

校正実施手順: ASNITE 校正手順書 (音響校正器)

校正年月日:

・備考

上記の音響校正器の校正結果は、ISO/IEC 17025:2017 の認定に基づき作成された文書に従い、IEC 60942:2003 (JIS C 1515:2004) の附属書B (定期試験) に規定された試験を実施したものです。

発行日:

発行責任者  
東京都八王子市兵衛二丁目22番2号  
リオンサービスセンター株式会社  
エンジニアリングビジネスユニット  
品質管理室 室長

- この証明書は、国家標準にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。認定シンボルは、校正した結果の国家標準へのトレーサビリティの証拠です。発行機関の書面による承認なしに、この証明書の一部のみを複製して用いることは禁じられています。
- リオンサービスセンター株式会社は、ISO/IEC 17025:2017 に適合しています。
- この証明書は、ILAC (国際試験所認定協力機構) 及び APAC (アジア太平洋認定協力機構) の MRA (相互承認) に加盟している IAJapan に認定された校正機関によって発行されています。この校正結果は、ILAC/APAC の MRA を通じて、国際的に受入可能です。

## 適合性の表明

・ 校正結果の要約

校正項目	合否判定	
	クラス LS/C	クラス 1/C
音圧レベル	合	合
周波数	合	合
全ひずみ	合	合

校正した結果、試験に供された音響校正器は、校正時環境において「音圧レベル」、「周波数」、及び、「全ひずみ」についての定期試験を規定した IEC 60942:2003 (JIS C 1515:2004) の附属書B に規定するクラス LS/C 及び クラス 1/C の要求事項への適合性を示しました。

・ 備考

## 適合性に対する合否判定ルール

- 音響校正器の規格 IEC 60942:2003 (JIS C 1515:2004) の附属書B への適合性の判定は、測定の拡張不確かさで広げた測定結果が規定の許容限度値以内の場合に合格と判定し、校正結果の要約の合否判定欄に“合”と表記しています。  
この時、拡張不確かさは、規定の拡張不確かさの最大許容値を超えてはいけません。
- 試験の為の供試品として気圧計が含まれる場合、事前にその気圧計の検査を行います。  
検査は校正実施者の標準気圧計の測定値が、供試気圧計の測定の拡張不確かさの範囲内の場合に検査合格と判定し、供試気圧計を定期試験に使用します。  
この時、標準気圧計の拡張不確かさは、0.2 kPaを超えてはいけません。

# 校正結果

・校正時環境

温度：

相対湿度：

静圧：

・校正の拡張不確かさ

包含係数  $k=2$  とした拡張不確かさであり、約95%の信頼の水準を持つと推測される区間を与える

・使用した校正票

校正年月日	指定音圧レベル	指定周波数
	114.00 dB	251.19 Hz

・使用した気圧計とその校正時の静圧

クラス	型式	製造番号	静圧	備考
LS/C	SBR-121			供試気圧計
1/C	SBR-121			供試気圧計

・音圧レベル 指定音圧レベル：114.00 dB

クラス	校正値 *1	結果 *2	結果の許容限度値	校正の拡張不確かさ	校正の拡張不確かさの最大許容値	合否判定
LS/C	114.04 dB	0.12 dB	0.20 dB	0.08 dB	0.10 dB	合
1/C	114.04 dB	0.12 dB	0.40 dB	0.08 dB	0.15 dB	合

\* 校正方法は標準マイクロホンによる校正

・周波数 指定周波数：251.19 Hz

クラス	校正値	結果 *3	結果の許容限度値	校正の拡張不確かさ	校正の拡張不確かさの最大許容値	合否判定
LS/C	251.2 Hz	0.2 %	1.0 %	0.2 %	0.3 %	合
1/C	251.2 Hz	0.2 %	1.0 %	0.2 %	0.3 %	合

\* 校正方法はデジタルマルチメータによる校正

・全ひずみ

クラス	校正値	結果 *4	結果の許容限度値	校正の拡張不確かさ	校正の拡張不確かさの最大許容値	合否判定
LS/C	1.7 %	2.1 %	2.5 %	0.4 %	0.5 %	合
1/C	1.7 %	2.1 %	3.0 %	0.4 %	0.5 %	合

\* 校正方法はディストーションアナライザによる校正

\*1 校正値は校正時環境下における値を、使用した気圧計により、基準静圧 (101.325 kPa) における値に換算したものです。

\*2 結果は指定音圧レベルと校正値の偏差の絶対値に校正の拡張不確かさを足したものです。

\*3 結果は指定周波数と校正値の偏差の絶対値を百分率に変換し、校正の拡張不確かさを足したものです。

\*4 結果は校正値に校正の拡張不確かさを足したものです。

## トレーサビリティの表明

この証明書は、国家標準または国際度量衡委員会加盟の諸外国の公的校正機関にトレーサブルな当社のワーキングスタンダードにより校正した結果を示すものです。  
一部のワーキングスタンダードは、当社の参照標準器を介して国家標準または国際度量衡委員会加盟の諸外国の公的校正機関を通じてトレーサビリティが確保されています。

以上